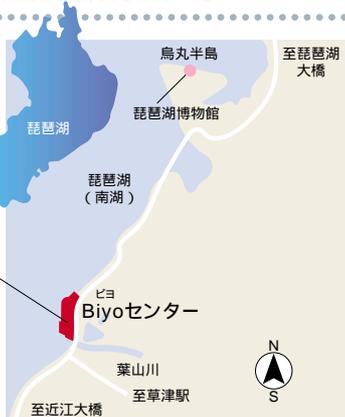
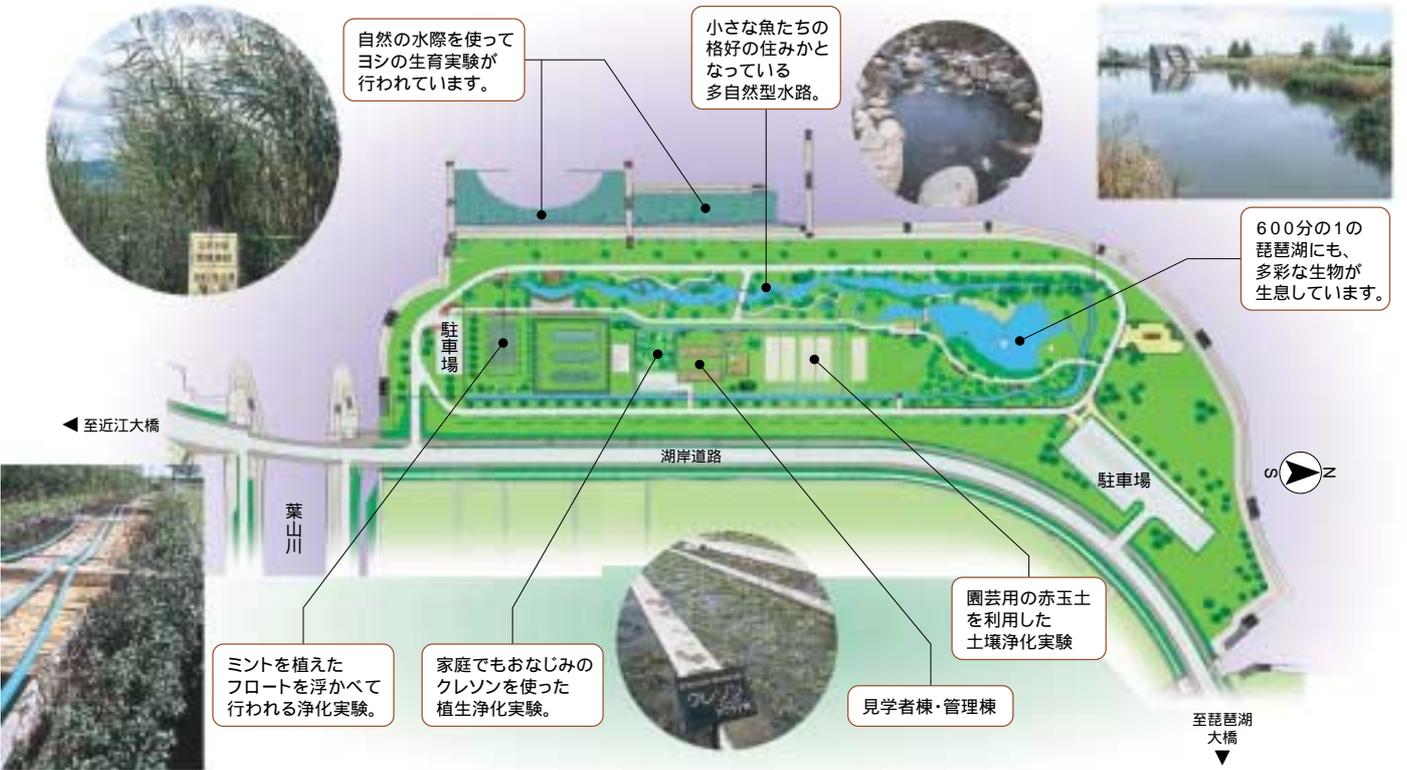


水生生物と水との 関係を探る Biyosセンター

魚や水生生物をはぐくむ豊かな水。その生命の水がつくりだす多様な水辺環境を研究し、自然のシステムを取り入れた水質浄化の実験に取り組みBiyosセンター（琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター）が、滋賀県草津市の葉山川河口右岸にあります。

当センターの約25ヘクタールの敷地内では、600分の1の大きさにスケールダウンされた琵琶湖や宇治川、木津川、桂川、淀川が設けられ、隣接する葉山川から水を引いて、自然の河川により近い多自然型水路実験が行われています。この実験を通して、ヨシがつくり出す水生生物の住みかに関する調査や研究が実施され、平成11年度には、22種の魚類や47種の水生動物、109種の水生植物をはじめ、昆虫類、虫類、両生類、鳥類など、貴重種を含め、人工的な水路とは思えないほど豊かな生物相が確認されています。



Biyosセンターではこのほかにミニトやクレソンなどの植物による水質浄化や不織布を用いた接触材と微生物の働きによる水質浄化するシステム、赤玉土の層による土壌浄化実験などが行われています。これらの実験結果から得たデータや浄化技術は、琵琶湖・淀川水系の水質改善に活かされ、守山川河口や草津川支川（北川）の河川浄化施設などにも導入される予定です。なお、Biyosセンターでは、一般の方々にも水質浄化の仕組みを見学していただけるよう敷地内を開放。スタッフによる実験施設の説明も実施しています。お問い合わせ
電話 077(568)2032

